

## 第2回 士別市農業・農村活性化審議会

日 時：令和8年2月20日（金）  
9：30～

場 所：市役所第2庁舎 301 会議室

### 1. 開 会

### 2. 挨 拶

### 3. 議 題

- ① 令和7年度士別市農業奨励賞選考結果の報告（資料1）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ② 第4次士別市農業・農村活性化計画における推進事業や主な取り組みに関する評価（資料2）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ③ 令和8年度農林業振興対策事業の予算概要（資料3）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ④ 第5次士別市農業・農村活性化計画のパブリックコメント状況（資料4）

### 4. その他

別記様式(第4条関係)

## 農業奨励賞候補者選考調書

令和8年1月5日

士別市長 様

士別市農業顕彰候補者選考委員会  
委員長 藤田 昌也

次の農業者(生産組織)を士別市農業奨励賞の候補者として、報告いたします。

## 記

候補者氏名 又は名称	櫻田 克明
生年月日(年齢) 又は設立年月日 (経過年数)	昭和50年1月31日
住 所	北海道士別市朝日町中央4041番地63
略 歴 職(事業)歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年 就農</li> <li>・平成27年～令和5年 農事組合法人あさひ 監事</li> <li>・平成28年～令和5年 NOSAI道央 総代</li> <li>・平成29年～令和元年 北ひびき農業協同組合 総代</li> <li>・平成30年～ 現任 てしおがわ土地改良区 総代</li> <li>・令和2年～ 現任 北ひびき農業協同組合 理事</li> <li>・令和6年～ 現任 農事組合法人あさひ 代表理事</li> </ul>
賞 罰	

<p>選 考 理 由</p>	<p>【経営規模】 田26.7ha 畑0.5ha 計27.2ha</p> <p>【作物（令和7年）】          水稲 14.9ha          秋まき小麦 4.2ha          大豆 6.3ha          地力作物 1.5ha          その他 0.3ha</p> <p>【経営の評価】          平成9年に小樽商科大学商学部企業法学科卒業後、全日本空輸株式会社に入社したのち、平成23年に実家の農業を継ぐことを決意する。          平成27年に経営移譲し現在に至るが、経営に於いては水稲を中心として小麦・大豆を耕作し、基本技術と適期作業を励行し高い生産性と収益性により安定した経営基盤を確立している。</p> <p>地域の活動等については、平成24年にはJA北ひびき青年部朝日地区の代表、平成27年には朝日地区の農作業受託組織である農事組合法人あさひの監事に就任。その後もNOSA I道央総代、北ひびき農業協同組合総代、てしおがわ土地改良区総代と朝日町をはじめ士別市の農業発展のために積極的に取り組み大きく貢献している。</p> <p>また、令和2年には北ひびき農業協同組合の理事に就任、令和6年には農事組合法人あさひの代表理事に就任し現在に至るが、地域住民からの信頼も厚く、地域に於ける農業農村の振興についても、より一層リーダー的な役割を担いその役割を遺憾なく発揮している事から、士別地区を代表する人材である。</p> <p>以上のことから士別市農業顕彰候補者として推薦いたします。</p>
<p>その他参考となる事 項</p>	

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	行 No.	主な取り組み《令和8年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業 評価	備考 (主な関連事業)
人 づ く り	1 担い手の確保・育成	① 新規就農者確保のための情報発信	1 ①地域おこし協力隊制度を活用した農業研修者の募集	パンフレットや市ホームページの情報を適宜見直す中、就農相談会等を通じて効果的にPRを行っていく。  就農相談会での対応を契機に、就農体験や研修の応募につながっていることから、積極的に出展し、PR活動を継続していく。  引き続き市ホームページ等を活用し、農業研修者の受入や活動状況等の情報を発信する。  引き続き関係機関へ研修活動の情報を発信する。	A	・農業・農村担い手支援事業
		2	・ 地域おこし協力隊(農業支援員(耕種・酪農)、めん羊飼育)の募集活動を実施。			
		3	・ 内、応募総数3件、任用総数2件(見込)			
		4	・ 市や農業公社のホームページにおいて情報発信。			
		5	②就農相談会への参加や道内大学、農業公社等への訪問によるPR活動			
		6	・ 就農相談会(札幌2回、東京2回、大阪2回、仙台1回)への出展によるPR活動を実施。			
		7	・ 北海道立農業大学校で開催されるキャリアサポートに参加し、PR活動を実施。			
		8				
		9	③市ホームページ等を活用した、農業研修者の受入や活動状況、士別市農業の魅力等の情報発信			
		10	・ 農業研修者や受入地区の紹介を市ホームページに掲載し、情報を発信。			
		11	・ 農業研修者の月間活動状況や年間研修結果報告を市ホームページに掲載し、情報を発信。			
		12	④関係機関等への研修活動状況の情報発信			
		13	・ JA、普及センター、農業委員会などの関係機関へ情報を発信。			
	14	①農業研修者の受け入れ	引き続き、士別市担い手支援協議会や各地区の受入農家協議会と協力し、研修者の受け入れに取り組む。  研修内容や技術習得状況に関する評価方法について、必要に応じて適宜見直しを図っていく。  今後も地区別意見交換会が開催された際に、新たな地区で受入農家協議会の設立要望があった際には関係機関と協力し支援する。  新規就農を目指す研修者の就農計画作成を、JAや普及センターと連携し、引き続き支援する。  就農直後の経営の安定や発展のため、引き続き国の事業や資金等の活用を支援する。  農業の担い手確保及び育成を図るため、次期総合計画期間における支援内容を見直しを行った。	A	・農業・農村担い手支援事業	
	15	・ 地域おこし協力隊を4名受入(北町地区1名、多寄地区2名、朝日地区1名)				
	16	・ 内、2名が就農研修を終えて、令和7年7月31日で退任。				
	17	②農業研修者の農業技術の習得状況等を関係機関と連携し定期的に確認				
	18	・ JA及び普及センターと連携し、研修者及び受入農家との定期面談を実施。				
	19					
	20	③農業者等との地区別意見交換会の開催				
	21	・ 全7地区での意見交換会において、農業研修者の受入に関する協議を実施。				
	22					
	23	④独立就農に向けた就農計画作成等の支援				
	24	・ 研修者及び受入農家との定期面談のなかで就農計画作成の支援を実施。				
	25					
	26	⑤国の事業(農業次世代人材投資事業等)や各種資金の活用支援				
	27	・ 経営開始資金の交付 5名				
	28	・ 青年等就農資金の借入 3名				
	29	⑥士別市農業農村担い手支援規則に基づく支援				
	30	・ 規則に基づき各種支援を実施。				
	31					
32	①関係機関と連携し出会いの場を創出	事務事業の見直しに伴い、令和8年度から農業者青年層だけに限らず、異業種や移住者など多様な層との交流の機会を創出し、全市的な移住促進を主眼とした事業へ抜本的な見直しを行う。	A	・グリーンパートナー推進事業		
33	・ 昨年同様、8月30日(土)に日帰り工程を基本としたツアーを開催。					
34	・ 内、男性8名、女性8名が参加し、2組のマッチングあり					
35						
36						
37	①農業者等との意見交換会の開催	引き続き、地域農業者との話し合いや関係機関と連携を図る中、労働力確保を推進していく。	A	・酪農ヘルパー推進事業		
38	・ 全7地区での意見交換会において、労働力確保の項目を含めた次期活性化計画(案)について協議を行った。					
39						
40	②関係機関と連携した農業労働力の確保対策の検討					
41	・ JA北ひびきとコントラクター協議会に関する情報交換を行った。	動向に注視する中、引き続き関係機関と連携を図っていく。	A			
42						
43	③大和牧場の効率的な運営などの検討	効率的・効果的な運営体制の整備に向けた取り組みを、引き続き推進する。	A			
44	・ 効率的な運営に向けて指定管理受託者と協議を行った。					
45	・ 近隣市町村の公共牧場における受入状況調査及び関係機関と情報交換を行った。	労働力確保に向けた取り組みを引き続き推進する。	A			
46	④酪農ヘルパー運営組織との連携					
47	・ 北ひびき酪農ヘルパー利用組合への事業費助成。					
2 労働力の確保	① 労働力確保・支援に向けた取り組み	37	①農業者等との意見交換会の開催	引き続き、地域農業者との話し合いや関係機関と連携を図る中、労働力確保を推進していく。	A	・酪農ヘルパー推進事業
		38	・ 全7地区での意見交換会において、労働力確保の項目を含めた次期活性化計画(案)について協議を行った。			
		39				
		40	②関係機関と連携した農業労働力の確保対策の検討			
41	・ JA北ひびきとコントラクター協議会に関する情報交換を行った。	動向に注視する中、引き続き関係機関と連携を図っていく。	A			
42						
43	③大和牧場の効率的な運営などの検討	効率的・効果的な運営体制の整備に向けた取り組みを、引き続き推進する。	A			
44	・ 効率的な運営に向けて指定管理受託者と協議を行った。					
45	・ 近隣市町村の公共牧場における受入状況調査及び関係機関と情報交換を行った。	労働力確保に向けた取り組みを引き続き推進する。	A			
46	④酪農ヘルパー運営組織との連携					
47	・ 北ひびき酪農ヘルパー利用組合への事業費助成。					

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	行 No.	主な取り組み《令和8年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業 評価	備考 (主な関連事業)	
人 づ く り	3 多様で安定的な経営体の育成	48	①農畜産物や加工品等のPRのため、士別市産直マップの作成や市ホームページの活用、通年販売に向けて「まちなか交流プラザ」などと連携	引き続き、産直マップを作成し、加工品等のPRを行っていく。	A		
		49	・令和7年度版産直マップを作成し、市ホームページでの公表や各出張所等に配置した。				
		50	②地域での話し合いに基づいた人・農地プランの見直し				地域計画の継続的なブラッシュアップを実施していく。
51	・令和7年12月19日、地域計画を一部変更した。						
52	(令和7年3月28日に人・農地プランから地域計画へ移行した)	引き続き、適切な処理を行っていく					
53	③農業振興地域整備計画等の適切な運用						
54	・申出があった用途変更や除外の地番について、適切な処理を行った。	A					
55							
農 村 づ く り	1 農業・農村の有する多面的機能の維持	56	①中山間対象農地の耕作放棄の防止等を図るため、士別市集落及びあさひ集落の共同取り組みを支援	集落で行われている共同取り組み活動について、引き続き支援を行う。	A	・中山間地域等直接支払交付金事業 ・多面的機能支払事業	
		57	・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金等を活用し、各地区の集落や活動組織が主体的に取り組む農地の保全管理や環境形成活動等の共同取り組みを推進します。				
		58	・中山間農業・農村活性化事業の実施。				
		59	・水路・農道などの維持管理の共同活動の実施。				
		60	・農用地の維持・管理活動の実施。				
		61	・農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動の実施。				
62	・対象農用地総面積 2,703ha ・ 交付総額 216,438千円	いずれの活動組織も遊休農地発生防止のため、水路、農道、法面の草刈など、農地の保全管理や環境形成活動を実施している。					
63	②多面的機能支払交付金を活用し地域資源の保全を図るため、各地域の活動組織への支援						
64	・対象農用地総面積 10,522ha	A					
65	・交付総額 223,718千円						
66							
2 経営改善の取り組み	① GAP(農業生産工程管理)の推進	67	①関係機関と連携したGAP基本講座の開催や周知	環境保全型農業直接支払交付金事業を活用し支援を行う。	A	・環境保全型農業直接支援対策事業	
		68	・R4年度から環境保全型農業直接支援対策事業においてGAPの取り組みに変わり新たに「みどりのチェックシート」、R6年度から「環境負荷低減のチェックシート」に変更となり実施。				
		69	取組農家戸数 18戸				
		70					
		71					
3 経営参画と意識の向上	① 家族経営協定の推進	72	①各関係機関と連携し、引き続き家族経営協定の周知	引き続き、農業委員会と連携を図りながら周知を行っていく。	A		
		73	・市ホームページで情報発信を行った。				
		74					
		75					
土 づ く り	1 農作物の安定生産	76	①寒冷地域での輪作体系上、欠くことのできないてん菜・馬鈴薯の生産振興	甜菜は、農業資材価格の高騰などにより作付面積の減少が懸念されることから、引き続き、各関係機関と連携する中で作付振興を推進していく。 種子馬鈴薯は、市内で馬鈴薯作付に対する種子が十分に確保できていないことから、引き続き、各関係機関と連携する中で作付振興を推進していく。	A	・甜菜作付振興事業 ・種子馬鈴しょ採取圃設置事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業	
		77	・甜菜作付振興事業 27,657千円 補助				
		78	【内訳】 甜菜作付作業受委託促進事業 4,464千円				
		79	甜菜作付機械化促進事業 1,678千円				
		80	生産確保支援対策事業 4,501千円				
		81	甜菜肥料価格高騰対策事業 17,014千円				
		82	・種子馬鈴薯採取圃設置事業 776千円 補助				
		83	②経営所得安定対策等直接支払交付金の活用				水田活用交付金見直しに伴う畑地化促進事業を適切に活用しながら、継続して支援を行っていく。
		84	・交付総額 4,551,533千円(年明け数量払除く)				
		85					地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動であることから、今後も推進していく。
86	③環境保全型農業直接支援交付金を活用したクリーン農業の推進						
87	・実施面積 478.92ha	A					
88	・交付総額 25,617千円						
89	④中山間地域等直接支払交付金を活用した堆肥利活用の推進	運送業者が限られており、繁忙期に依頼した場合、堆肥を届ける時期が遅くなる事が懸念される。					
90	・堆肥施用事業の実施(中山間農業・農村活性化事業)						
91	・R7実績見込み:23,527t	引き続き関係機関と連携を図っていく。					
92	⑤地域資源循環システム構築に向けて関係機関と検討						
93	・令和4年度にJA北ひびきがスクリュース式攪拌機を更新したことに伴い、堆肥の処理・製造能力が向上し、堆肥の供給体制が整備されたことで、耕畜連携による地域資源循環に寄与。	A					
94							

第4次 土別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	行 No.	主な取り組み《令和8年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業 評価	備考 (主な関連事業)	
収 量 ア ッ プ	1 生産基盤の整備による安定的な農作物生産の確立	95	①道営中土別地区農地整備事業による大区画化や暗渠排水の整備等の総合的な推進	引き続き、道営農地整備事業の推進に向け、受益者の負担軽減を図っていく。	A	・農業農村整備促進費活用事業  ・中山間地域等直接支払交付金事業  ・多面的機能支払事業  ・天塩川地区水利施設管理強化事業	
		96	・中土別第2～4地区 施工面積89.1ha				
		97		生産基盤の整備による農産物の品質・収量の向上が重要であることから今後も推進していく。	A		
		98	②中山間地域等直接支払交付金を活用し、土別市集落及びあさひ集落が取り組む、軽微な暗渠排水の整備等の基盤整備を支援				
		99	・暗渠排水管敷設事業の実施(中山間農業・農村活性化事業)				
		100	・R7実績:土別51,362m、朝日1,940m(見込)計53,302m(見込)	いずれの活動組織も用水路の補修や整備など、安定的な農作物生産の確立のため、実施している。	A		
		101	③多面的機能支払交付金を活用し、各地区の活動組織が取り組む用水路の補修等を支援				
		102	・対象農用地総面積 10,522ha				
		103	・田んぼダムの実施				
		104	・交付総額 223,718千円	引き続き、土地改良区が管理する農業水利施設の複雑かつ高度な操作・管理を支援していく。	A		
	105	④農業水利施設の適正な維持管理への支援					
	106	・水利施設管理強化事業により土地改良区の管理体制の整備を図る経費の支援を実施。					
	107						
	2 農作物の栽培技術の向上・野生動物による食害防止	① 栽培技術等の普及・推進	108	①国や道の補助制度等を活用した支援	引き続き、国や道、各関係機関と連携した支援を推進します。	A	・経営体育成交付金事業  ・中山間地域等直接支払交付金事業  ・多面的機能支払事業
			109	・GPSガイダンス活用面積 7,593ha			
			110	・水管理システムの設置(令和7年度実績:5台)			
			111	・スマート農業促進に関する機械導入の補助事業を推進。(1件 30,000千円)	農業者の高齢化、担い手不足に伴い、時間の短縮や労働力の軽減が重要であることから今後も推進していく。	A	
			112	②中山間地域等直接支払交付金を活用し、土別市集落及びあさひ集落が取り組む、農作業省力化の取り組みを支援			
			113	・法人あさひ運営補助			
			114	・無人ヘリコプター等散布防除事業の実施(中山間農業・農村活性化事業)8,882ha			
			115	③多面的機能支払交付金を活用し、活動組織が取り組む農作業省力化の取り組みを支援	多面的の担当者会議において、今後も推進していく。	A	
			116	・水管理システムは、毎年新規設置されており、拡大している。			
			117	・灌がい施設等周辺の草刈りにおいて、トラクター装着の草刈機械を使用し省力化を計った。			
118			・対象農用地総面積 10,522ha				
119			・交付総額 223,718千円	引き続き、関係機関と連携した支援を推進していく。	A		
120			④各関係機関との連携によるスマート農業の推進				
121	・農業者に対して、JAと連携する中、スマート農業促進に関する国・道の補助事業の周知を図った。						
122							
123							
124	①農作物栽培試験の実施及び成果報告会の開催、栽培試験結果をまとめた冊子の配布	引き続き、関係機関と連携する中、地域農業者に対して栽培試験の成果報告を提供していく。	A	・農作物栽培試験・栽培技術向上推進事業			
125	・水稻、畑作に関する栽培試験を実施(10項目)						
126	・栽培試験成績書をJA機関誌と合わせて配布予定(令和8年2月末650部納品予定)	引き続き、検診を実施して早期発見に努める	A				
127	②ジャガイモシストセンチュウ食物検診の実施・市民等への周知						
128	・7月24日に一部の地区で植物検診を実施した。(4年間で全地区実施)						
129	・市HPや広報を活用し、まん延防止対策の周知を行った。	引き続き、拓殖短大やアドバイザーと幅広い分野で連携を図っていく。	A				
130	③土別市農業応援アドバイザーの活用						
131	・拓殖短大との包括連携協定に基づく事業として、水稻農家に対する講演や新規就農者等を対象とした冬期学習会における簿記講座を実施した。	需用が少しずつ増加する中、産地として原料を安定供給することが最も重要であることから、引き続き関係機関と連携を図りながら推進していく。	B				
132	・[羊]アドバイザーによる市内農家への巡回指導(5月、10月)及び講習会の開催(9月)						
133	④つくも4号大豆種子の生産、市内外へのPR						
134	・種子大豆の生産(作付農家2戸、作付面積0.6ha、収量1,350kg)						
135	・育種家(三分一敬氏)とつくも4号通常利用権契約を更新						
136	・砂糖消費拡大イベントにおいて、つくも4号を使用した菓子を販売						
137							
138							

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	行 No.	主な取り組み《令和8年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業 評価	備考 (主な関連事業)				
収量 アップ	2 農作物の栽培技術の向上・野生動物による食害防止	139	①中山間地域等直接支払交付金の活用(エゾシカ)	近年多発するエゾ鹿等の食害を防止するため、引き続き推進していく。	A	・中山間地域等直接支払交付金事業				
		140	・エゾ鹿等簡易防護柵設置事業の実施(中山間農業・農村活性化事業)							
		141	新規4件 更新14件							
		142	②国の補助事業を活用し、緊急捕獲活動を実施(エゾシカ)				引き続き、国の補助事業を活用し、緊急捕獲活動を実施する。			
		143	・1月末時 1,021頭捕獲(計画頭数1,300頭)							
		144								
		145	③箱わな捕獲(ヒグマ)					引き続き、ヒグマによる農作物被害等の防止のため、随時箱わなを設置する。		
		146	・4頭捕獲							
		147	・6箇所設置							
		148	④捕獲者に対する奨励金制度の活用(ヒグマ)						引き続き、ヒグマの捕獲者に対し、奨励金を交付する。	
		149	・1月末時 55頭捕獲							
		150								
		151	⑤春捕獲の推奨(アライグマ)							引き続き、アライグマ捕獲講習会を開催し、防除従事者の確保を図り、春捕獲の推奨などにより農作物被害等の低減を図る。
		152	・4月～6月:94頭捕獲							
		153	・1月末時 捕獲頭数 489頭							
154	⑥狩猟免許取得費用の支援(鳥獣全般)	引き続き、広報やホームページ等により狩猟免許取得費の支援等を周知し、捕獲従事者の担い手確保に努める。								
155	・1件									
156										
157	⑦鳥獣被害対策実施隊による一斉捕獲(エゾシカ)		引き続き、国の補助事業を活用し、鳥獣被害対策実施隊による一斉捕獲を実施する。							
158	・2月に3回実施予定									
159										
3 収益力・生産基盤の強化による畜産経営基盤強化	① 規模拡大・施設更新・家畜伝染病対策の推進			160	①畜産クラスター事業等を活用した施設整備及び機械導入の推進	物価高騰の折、酪農分野の制限が撤廃された。酪農・畜産農家の更なる経営基盤強化に取り組む必要がある。	A	・畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業		
				161	・関係機関と連携し、畜産クラスター計画記載事業の進捗状況確認					
				162						
				163	②サフォーク種めん羊生産基盤整備事業等を活用した施設整備及び機械導入の推進				規模拡大は物価高騰により難しい情勢ではあるが、めん羊の飼養者の経営安定化を支援するため引き続き取り組みを推進する。	
				164	・R7 畜舎整備経費の補助1件・めん羊導入経費の補助1件・車両取得経費の補助1件					
				165	・今後の事業活用に向けて新規就農者と協議の実施					
				166	③飼養衛生管理基準の遵守に向けた指導體制の強化					酪農・畜産農家の防疫意識向上のため、引き続き取り組みを推進する。
				167	・飼養衛生管理基準に関する上川家畜保健衛生所による巡回調査への協力					
				168	・必要に応じて家畜伝染病等に関する情報提供					
		169		② 自給粗飼料生産拡大の推進	事業目的である「自給飼料基盤の改善」に向け、次期計画(R10～13)における受益者・事業量の確保に努める。					
170	・各種事業を活用し、自給飼料生産基盤の強化を図ります。									
171										

「持続可能な生産体制の確立」を達成するための数値目標

目 標	目 標 値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
新規就農者確保数	延:20人	5人	7人	5人	10人	5人	10人	5人	9人
排水性向上対策(暗渠施工延長)	延:220,000m	55,000m	35,236m	55,000m	33,250m	55,000m	39,495m	55,000m	53,302m
土づくり対策(堆肥・緑肥施用面積)	延:9,200ha	2,200ha	2,098ha	2,300ha	1,703ha	2,300ha	2,247ha	2,400ha	1,976ha
GPSガイダンス活用面積	延:23,760ha	5,730ha	6,469ha	5,870ha	7,156ha	6,010ha	7,196ha	6,150ha	7,593ha

評価項目	評価事業数	割合
A評価	49	98.0%
B評価	1	2.0%
C評価	0	0.0%
D評価	0	0.0%
合 計	50	100.0%

1	<b>経営所得安定対策推進事業</b>	予算額	<b>6,260千円</b>
		主な財源	国・道負担 6,260千円
		R7予算額	5,823千円
【主な事業概要】 土別市農業再生協議会へ助成等を行い、経営所得安定対策事業の円滑実施に努める。			
2	<b>農業農村担い手支援事業</b>	予算額	<b>7,437千円</b>
		主な財源	土別市負担 7,437千円
		R7予算額	4,981千円
【主な事業概要】 農業の担い手の確保と育成を図るため、農業・農村担い手支援規則に基づく支援を行う。新たに、就農4年目以降の経営発展の後押しや就農体験参加者へ交通費の一部支援などを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規就農者等経営規模拡大支援助成事業 1,636千円</li> <li>・ 就農啓発事業 71千円</li> <li>・ 就農体験者宿泊費支援事業 80千円</li> <li>・ 新規就農者育成支援事業 4,000千円</li> <li>・ 受入農家協議会支援事業 960千円</li> <li>・ 農業者支援学習事業 50千円</li> <li>・ 就農体験者交通費支援事業 140千円</li> <li>・ 新規就農者資格取得支援事業 500千円</li> </ul>			
3	<b>農作物栽培試験・栽培技術向上推進事業</b>	予算額	<b>1,406千円</b>
		主な財源	土別市負担 1,406千円
		R7予算額	2,509千円
【主な事業概要】 JA北ひびきへの委託で実証試験圃を設置する中、水稻における各種試験や、生産者への新品種・新栽培技術の普及指導等を実施し、安定生産体制の確立を図る。また、つくも4号の安定供給に向けて取り組みを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農作物栽培試験及び栽培技術向上推進委託料 528千円</li> <li>・ 拓殖短期大学講師謝礼 90千円</li> </ul>			
4	<b>農業次世代人材投資事業</b>	予算額	<b>9,075千円</b>
		主な財源	国・道負担 9,075千円
		R7予算額	7,500千円
【主な事業概要】 次世代を担う農業者となることを志向する者に対して、国の新規就農者育成総合対策による農業次世代人材投資事業を活用し、担い手の確保・育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営開始資金：対象者5人</li> </ul>			
5	<b>令和3年干ばつ等農業対策事業</b>	予算額	<b>7千円</b>
		主な財源	土別市負担 7千円
		R7予算額	15千円
【主な事業概要】 令和3年の干ばつ等で被害を受けた農業者が、経営の再建や減少した収入の補填のため、JA北ひびきから借り入れた資金の利子助成をする。			
6	<b>中山間地域等直接支払交付金事業</b>	予算額	<b>216,580千円</b>
		主な財源	国・道負担 162,470千円
		R7予算額	228,990千円
【主な事業概要】 農業振興地域内の急緩傾斜農用地をはじめ、市内全体の農業生産基盤の向上と農村集落が持つ多面的機能の保全を図るため、国が実施する制度に基づき、交付金を交付する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業期間：令和7～令和11年度（6期対策）</li> <li>・ 土別市集落：154,369千円（1,983ha）</li> <li>・ 土別市あさひ集落：62,069千円（720ha）</li> </ul>			
7	<b>甜菜作付振興事業</b>	予算額	<b>25,196千円</b>
		主な財源	起債 15,000千円
		R7予算額	32,280千円
【主な事業概要】 寒冷地域の基幹作物である甜菜の安定的な生産振興を図るため、生産農家に対し支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 甜菜作付作業受委託促進事業 7,560千円</li> <li>・ 甜菜作付面積維持対策事業 14,850千円</li> <li>・ 甜菜作付機械化促進事業 2,169千円</li> <li>・ 土別市砂糖消費拡大推進委員会補助金 300千円</li> </ul>			

【続・農業振興課所管】

8	<b>種子馬鈴薯採取圃設置事業</b>	予算額	<b>1,440千円</b>
		主な財源	士別市負担 1,440千円
		R7予算額	1,080千円
<p>【主な事業概要】</p> <p>寒冷地域の基幹作物である馬鈴薯の安定的な生産振興を図るため、種子馬鈴薯の生産を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原種の購入価格に対して4/10以内を補助（上限12,000円/10a）</li> </ul>			
9	<b>多面的機能支払交付金事業</b>	予算額	<b>225,154千円</b>
		主な財源	国・道負担 169,031千円
		R7予算額	225,677千円
<p>【主な事業概要】</p> <p>多面的機能支払交付金制度を活用し、地域の集落組織の活動を支援することで、農地や施設等の保全に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業期間：令和7～令和11年度</li> <li>実施地区：14地区</li> <li>交付金：222,976千円</li> <li>令和7年度返還金：378千円</li> </ul>			
10	<b>環境保全型農業直接支援対策事業</b>	予算額	<b>41,223千円</b>
		主な財源	国・道負担 30,991千円
		R7予算額	41,389千円
<p>【主な事業概要】</p> <p>環境保全型農業直接支援交付金制度を活用し、土づくりの推進と化学肥料・化学合成農薬を低減したクリーン農業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業期間：令和7～令和11年度</li> <li>環境保全型農業直接支援交付金 40,923千円</li> </ul>			
11	<b>農業農村整備促進費活用事業</b>	予算額	<b>136,800千円</b>
		主な財源	国・道負担 106,020千円
		R7予算額	115,528千円
<p>【主な事業概要】</p> <p>道営農地整備事業の推進に向け、促進費活用型パワーアップ事業を活用し、農家の負担軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業期間：平成30～令和15年度</li> <li>対象地区：第2地区、第3地区、第4地区</li> <li>令和8年度施工面積：71.2ha</li> <li>総事業費：2,736,000千円（負担軽減額：総事業費×5%）</li> </ul>			
12	<b>天塩川地区水利施設管理強化事業</b>	予算額	<b>62,294千円</b>
		主な財源	国・道負担 46,720千円
		R7予算額	63,380千円
<p>【主な事業概要】</p> <p>土地改良区が管理する農業水利施設の複雑かつ高度な操作・管理を支援し、集中豪雨等に対する多面的機能の発揮を図る。</p>			
13	<b>新基本計画実装・農業構造転換支援事業</b>	予算額	<b>824,148千円</b>
		主な財源	国・道負担 824,148千円
		R7予算額	0千円
<p>【主な事業概要】</p> <p>食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、令和7年4月に策定された「食料・農業・農村基本計画」の着実な実施による農業の構造転換の実現に向け、地域農業を支える老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化に取り組む産地を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組主体：JA北ひびき</li> <li>事業期間：令和7～令和9年度</li> <li>事業費：1,607,697千円</li> </ul>			
14	<b>新基本計画実装・農業構造転換支援事業（単独）</b>	予算額	<b>91,100千円</b>
		主な財源	起債 91,100千円
		R7予算額	0千円
<p>【主な事業概要】</p> <p>新基本計画実装・農業構造転換支援事業の対象となる士別地域内におけるJA北ひびきの共同利用施設の再編整備をより促進するため、対象経費の一部（補助対象経費自己負担額の2分の1相当額）を支援する。</p>			

【畜産林務課所管】

1	<b>めん羊振興事業</b>	予算額	<b>14,343千円</b>
		主な財源	士別市負担 14,343千円
		R7予算額	15,039千円
【主な事業概要】 めん羊経営の安定化や担い手の育成・確保と安定した羊肉生産体制強化に向けた基盤づくりを推進し「羊のまち士別」の更なる認知度向上を図る。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ めん羊振興事業 9,763千円</li> <li>・ 士別市農業応援アドバイザーの委嘱 300千円</li> <li>・ めん羊経営の安定化 920千円</li> <li>・ 生産基盤の整備 3,144千円</li> <li>・ 広域的なネットワーク組織の活動 156千円</li> <li>・ 担い手の育成、研修生受入対策 60千円</li> </ul>			
2	<b>酪農ヘルパー推進補助事業</b>	予算額	<b>2,457千円</b>
		主な財源	士別市負担 2,457千円
		R7予算額	2,457千円
【主な事業概要】 酪農家の病気、事故、余暇等の時間を確保し、酪農経営の円滑化を図る。			
3	<b>有害鳥獣被害防止対策事業</b>	予算額	<b>21,956千円</b>
		主な財源	士別市負担 17,536千円
		R7予算額	15,845千円
【主な事業概要】 有害鳥獣による農作物、人的被害防止対策、捕獲従事者の確保・育成を図る。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有害鳥獣駆除全般 713千円</li> <li>・ エゾシカ駆除業務委託 6,300千円</li> <li>・ ヒグマ駆除対策 12,620千円</li> <li>・ アライグマ駆除対策 2,323千円</li> </ul>			
4	<b>森林整備促進事業</b>	予算額	<b>39,297千円</b>
		主な財源	士別市負担 39,297千円
		R7予算額	45,268千円
【主な事業概要】 「森林環境譲与税の活用に向けた基本方針」に基づき適切な森林整備を促進する。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造林公共事業に係る上乗せ補助 7,674千円</li> <li>・ 造林公共事業以外に係る補助 12,905千円</li> <li>・ 森林整備担い手対策 17,500千円</li> <li>・ スマート林業機器導入助成 500千円</li> </ul>			
5	<b>豊かな森づくり推進事業</b>	予算額	<b>9,194千円</b>
		主な財源	国・道負担 4,773千円
		R7予算額	9,193千円
【主な事業概要】 私有林等の植栽を推進し、森林資源の循環及び多面的機能の発揮並びに地域の振興を図る。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業主体：森林所有者</li> <li>・ 伐採跡地への植栽予定面積：35.0ha</li> </ul>			
6	<b>森林環境保全整備事業</b>	予算額	<b>17,860千円</b>
		主な財源	士別市負担 10,060千円
		R7予算額	20,900千円
【主な事業概要】 市有林の健全な維持造成を図り、森林資源の充実と山村地域の振興に資する。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人工造林 (9.80ha) 9,500千円</li> <li>・ ヒグマ対策護衛業務 100千円</li> <li>・ 下刈 (63.96ha) 7,800千円</li> <li>・ 市有林管理 (単独) 10千円</li> <li>・ 根踏 (5.25ha) 450千円</li> </ul>			

## パブリックコメントの結果等を踏まえた計画の修正について

第5次士別市農業・農村活性化計画（案）に対してのご意見は次のとおり。

### ①パブリックコメントの実施結果

- ・意見の募集期間：令和8年1月5日（月）～令和8年2月4日（水）
- ・計画の閲覧場所：市ホームページ  
市役所、朝日支所、各出張所、生涯学習情報センター
- ・意見の提出方法：郵送、持参、ファックス、意見提出フォーム
- ・意見の提出数：0件

### ②地区別意見交換会でのご意見

- ・開催：市内7地区（令和7年12月1日～12月19日）
- ・ご意見：特になし

### ③市議会総務産業常任委員会でのご意見

- ・開催：令和8年1月30日
- ・ご意見：農作物の栽培技術の向上に加えて『品質の向上』も明記してはどうか。

### 【事務局案】

第5次士別市農業・農村活性化計画について、パブリックコメント等を実施した結果を踏まえ内部協議を行った結果、一部文言修正（軽微な字句修正は除く）のうえ、最終計画とする。

### ■修正箇所

ページ	修正前	修正後
2	持続可能な生産体制 ～未来につなぐ～ 2 農作物の栽培技術の向上	持続可能な生産体制 ～未来につなぐ～ 2 農作物の栽培技術と品質の向上
9	持続可能な生産体制 ～未来につなぐ～ 2 農作物の栽培技術の向上	持続可能な生産体制 ～未来につなぐ～ 2 農作物の栽培技術と品質の向上
22	2 農作物の栽培技術の向上 農作物の安定供給と品質向上には、地域の土壌や気候に応じた栽培技術の向上、そして、生産者の理解が不可欠です。	2 農作物の栽培技術と品質の向上 農作物の安定供給と品質向上には、地域の土壌や気候に応じた栽培技術等の向上を図るとともに、生産者の理解と協力のもとで取り組むことが不可欠です。